

学校だより

千代田

平成29年2月21日 第16号
<http://www.chiyoda-e.kofu-ymn.ed.jp/>

甲府市立千代田小学校

甲府市下帯那3034-2

電話：055-251-8059

FAX：055-251-8067

発行・文責 校長 望月一夫

『第2回学校評議員会・学校評価結果の報告』

2月3日(金)に、第2回学校評議員会が開かれました。今回は、山本さん、藤村さん、三枝さん、久保寺さんの4名全員のご出席をいただき、校長、教頭の2名を加え、6名で授業参観と学校評価結果を基に話し合いが行われました。

授業参観

最初に授業参観を行い、第1回学校評議員会の時よりも大きく成長している子供達の様子を見ていただきました。1校時授業を参観して、各学級で真剣に授業に向かう子供達の姿から、「どの学年も子供達と先生の距離が近く、少人数の良さを生かした指導がされていますね」「子供達は、よく勉強していますね」「しっかり学習していますね」という感想を述べられていました。

参観後の学校評議委員会の中で、授業について次の2点のご意見をいただきました。①授業の中で、「めあてボード」が有効で、子供達が「何を学ぶのか」の目標がしっかりと共有できていた。②どの学年も子供達と先生の距離が近くに感じられ、少人数の良さを生かして一人一人に対応するきめ細やかな指導が展開されていた。このご意見を受け、更に学校としても少人数の良さを生かした授業を展開していくことや授業の中で多様な意見が出せるように教員が工夫していくことを伝えました。例えば、4年生は現在児童が一人で、教員が同級生の役になり意見を言ったり、話し合いを進めたりしており、今後もこのような工夫から、効果的に学習が展開できるように努力したいと考えています。一方、私たち教員は、少人数のメリット(効果的な指導)だけでなく、学習活動において、子供達がより多面的・多角的に物事を捉えることができるようにしっかりと授業改善に取り組んでいかなければなりません。多様な意見を聞き自分の考えに生かしていくためには、現在北新小など近隣小学校と行っている交流会をより活発にすることも必要でしょう。また、学習した内容を関連付けて活用するためには、幼小や小中の連携



久保寺委員さん、藤村委員さん、三枝委員さん、山本委員さん



を更に深めて、学んだことが発達段階に応じて確実につながっていくようにすることも大切だと考えます。これからも様々なご意見をいただきながら改善策を考え、それを学習活動に生かしていきたいと思ひます。

短時間の授業参観でしたが、話し合いの中で授業についていくつかのご示唆をいただきました。学校の中で、今後の指導に役立てていきたいと思ひます。

「学校評価」結果の報告

学校評価の実施に際して、全家庭、学校評議員さんから調査票へのご回答をいただくことができました。皆様のご協力に感謝致します。本校の学校評価は、文部科学省の『学校評価ガイドライン』に則り、児童によるアンケート、保護者によるアンケート、学校評議員による評価、教職員による評価と、全4者から評価を行っています。

【児童によるアンケート】

児童によるアンケートは、「学校生活・友だちのこと」「地域のこと」「特色ある活動のこと」「家の生活のこと」という、大項目4つと全23の小項目について「はい」「ふつう」「いいえ」「わからない」の4段階で尋ねています。

「勉強で分からないことがあった時、先生に聞きやすい」「授業で分からないことについて先生に質問しやすい」「お家や地域の方々が、学校の活動に参加してくれてうれしい」「育成会や地区の活動に進んで参加している」「一輪車の技を向上させようと努力している」「全校合唱を心を合わせて歌っている」「千代田荘の交流に進んで参加している」「花壇やサツマイモ作りに力を合わせている」「地域の自然や文化について深く知ろうとしている」「一分間スピーチや学習・音楽発表会に一生懸命取り組んでいる」などの項目については「はい」という回答が80%～100%に達し、これらの項目については概ね良好であるといえます。

一方、「困っていることや悩んでいることを先生に相談できますか」「勉強道具の忘れ物はありませんか」「早寝、早起き、朝ご飯を食べる規則正しい生活をしていますか」に関しては、「いいえ」と回答した児童の割合が22%～28%で、改善の余地がうかがわれる数値となっています。自分を厳しく自己評価していることも考えられますが、学校でも取り組みを進め、今後、尚一層児童の評価が高まるような指導を行っていききたいと思ひます。



《改善策》…困っていることや悩んでいることを相談しやすいように、子供と向き合う時間を多くつくっていく。生活リズムチェックの活用や連絡帳への記入を更に進め、意識させる取組とする。

【保護者によるアンケート】

保護者によるアンケートについては、「教育目標の達成」「学校組織・運営」「学校生活・学習指導・生徒指導」「地域社会との連携」「学校の特色」という、大項目5つと全30の小項目についてABCDの

4段階で評価していただきました。

全30項目中、24項目でAまたはBを合わせると100%（分からない評価を若干含む）になっています。その中でもA(良い)評価が高いのは、「お子さんは、毎日元気に学校に行っている」「CAN、外部講師、行事など保護者や地域の人々が教育活動に参加・協力する機会を設けている」「一分間スピーチの取組によって、表現力や人前で発表するための心構えが養われている」「運動会の取組から、たくましい心と体、仲間と協力して助け合う姿勢が養われている」「一輪車の取組によって、体力向上が図られている」の5項目でした。

一方、「学校は、思い遣りのある児童を育てようとしている」「学校は、よく考え、進んで学習する児童を育てようとしている」「校舎内外の環境・施設整備が適切に行われている」「お子さんは、宿題や自主学習といった家庭学習の習慣が身に付いている」「学校は児童の間違った行動に対して、適切に指導している」「お子さんのことで、相談できる先生が学校にいる」の6項目で、C(改善を要する)評価を5%～10%をいただきました。この評価結果を受け、家庭学習の定着に向けて取り組むことや相談できる教職員になれるように自己研鑽にも励んでいきたいと思ひます。

《改善策》…家庭学習の定着については、「家庭学習のすすめ(学校・市教委)、学びの甲斐善八か条(県教委)」を活用し、学ぶことの大切さを各家庭に周知して。相談できる教職員に向けては、学力向上への話題を家庭と共有するところから、保護者の抱えている悩みや不安を聞き出し、子供のことで相談できる教職員になれるように取り組んでいく。

【学校評議員による評価】

学校評議員さん4名よりご回答いただきました。学校評議員さんによる評価については、「教育目標の達成」「学校組織・運営」「学校生活」「地域社会との連携」「学校の特色」という、大項目5つと全26の小項目についてABCDの4段階で評価していただきました。

その中で、学校の特色に関する7項目では、全てA(良い)評価をいただきました。その他の項目でもC(改善を要する)評価はなく、全体的にA(良い)やB(普通)という評価をいただいています。

一方、D(分からない)評価を次の2つの項目でいただいています。「地震や災害などの緊急時に備えて、適切な取組や訓練がされている」「学校は、児童の間違った行動に対して、適切に指導している」についてです。改善に向けて、学校評議員さんに学校の活動をお知らせするような取組をしていきたいと思ひます。

また、記述欄には、「少人数だからこそきめ細かいご指導で子供達が、成長している姿を感じ取れてうれしく思ひます」と書いてありました。私たち教職員がしっかりと授業や教育活動を進めていくことが大切であることをもう一度確認しました。そして、地域と学校が一体となっている貴重な学びの場が、千代田小でありたいと考えています。

《改善策》…避難訓練等については、保護者引き渡し訓練や通常の避難訓練のみならず、消火体験や防犯教室、予告なし訓練等を行っているので、これからは評議員さんにも以下の方法で情報提供をしていく。

①「学校だより」で活動の様子を発信する。②危機管理マニュアルを用いて活動計画や実施内容を説明していく。

【教職員による評価】

教職員による評価は「学校教育目標の実現について」「学校運営・組織について」「学習指導について」「生徒指導について」「保護者・地域との連携」という、大項目5つと全36の小項目についてABCの3段階で評価しました。

結果については、概ね良好な結果と受けとめられますが、その中でも、「学校教育目標の実現に努めている」「校内研究会は、目標の達成に向けて計画的に有意義に進められた」「危機管理マニュアルに沿って児童の安全を確保する体制および訓練ができていく」「個人情報等の資料等の管理ができていく」「学習意欲の向上に努めている」「職員全体でいじめ・問題行動・不適応等の早期発見・早期対応の共通指導体制がとれている」「特色ある教育課程の編成に努めている」「指導重点を意識して教育実践をしている」「校務分掌・職責遂行に努めている」「職員間の連携(指導助言・協力体制)は図られている」「保護者との連携を図っている」「保護者や地域に対して、学校行事や活動の様子について情報を提供・発信している」「保護者と教職員は協力してPTA活動の充実に努めている」「児童の安全確保が図られるように、保護者や地域・関係機関との連携を図っている」等の項目については高い評価結果となりました。

一方、課題として、「教育環境の整備・充実に努め、活用と整理整頓に努めている(特別教室)」「道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して、思い遣りの心をもった道徳的実践力の育成に努める」の2項目があがりました。校舎内の老朽化もあり、教育環境の充実や施設の整備等に取り組んでいきたいと思ひます。また、道徳教育の充実に向けて子ども達の心の育成にも取り組んでいきます。具体的な改善に向けては、3学期から検討や取り組みを進めてきています。

《改善策》…本校の児童減少対策が進んでいる中で、学校マネジメント機能を強化し、教職員が子供と向き合える時間を十分に確保できる体制づくりを推進する。①教育専門スタッフや教育人材を有効に活用する。②教育環境の整備や道徳教育の充実に努める。③学校の特色を生かした教育課程の編成に努める。

【まとめ】

以上、4者による学校評価結果の概要について、職員会議での検討結果を含め学校評議員会で報告し、話し合いの中でご意見をいただきました。学校評議員さんからは、「授業の様子から先生方が一生懸命に子供達と向き合っている姿が見られた」「一分間スピーチが良い活動として行われ、子供達が人前でしっかり話せるようになっている」「授業の中で、人数が少ないことの良さを生かし、更に工夫して授業に取り組んでいくことが良い」の意見をいただきました。

また、これからの改善点として、「防犯対策では、スマートフォンやSNSを含む情報に関する指導を小学校の段階から充実させる必要がある」「児童減少対策により、他地区から通学する子供達への緊急時の登校措置等の対応として、危機管理マニュアルを再整備していく必要がある」「運動会では、児童数が少ないので競技の合間に休憩を十分取り、競技のつなぎ目にBGMをかけ続けて雰囲気確保するなど更なる工夫をしてほしい」等、学校活動の評価や今後の示唆になるご意見をいただきました。以上の内容についても、改善に努めていきたいと思ひます。

調査結果に対しては、全体的には、概ね良好な結果が得られたと捉えていますが、結果が思わしくない項目について更に改善の努力を重ねていきたいと思ひます。これらの結果を参考に来年度の教育課程の検討や活動の見直しを進め、今後の千代田小教育の推進に取り組んでいきたいと思ひます。

